

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第3回社会教育委員会議
開催日時	令和8年2月3日(火) 午後3時30分～5時
開催場所	所沢市役所8階 大会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 社会教育関係団体の補助金について (2) その他 (3) 報告事項
会 議 資 料	資料1-1: 令和7年度社会教育関係団体(補助金交付団体)一覧 資料1-2: 令和7年度 補助金団体(新規) 報告事項資料1: 第79回所沢市二十歳のつどい出席者数 報告事項資料2: 地域ジュニアリーダー養成事業 報告事項資料3: 第78回優良公民館表彰・令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰
担 当 部 課 名	教育長 岩間 健一 教育総務部長 池田 淳 教育総務部次長 三上 佳明 文化財保護担当参事 稲田 里織 所沢図書館担当参事 中村 まさみ スポーツ振興課長 波多野 健一 社会教育課 課長 奥井 祥三 社会教育課 主査 宮岡 さやか 社会教育課 主任 高橋 幸大 生涯学習推進センター 所長 藤巻 幸子 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

所沢市社会教育委員会議出欠一覧

令和8年2月3日（火）午後3時30分から 所沢市役所 8階大会議室

選出根拠※	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	よしかわ えいいち 吉川 英一	所沢市立小中学校校長会 (向陽中学校校長)	○
学校教育関係者	いしみね ゆうだい 石嶺 雄大	所沢市幼児教育振興協議会 (美原幼稚園 園長)	○
社会教育関係者	かとう いちお 加藤 市男	所沢市公民館運営審議会 民生・児童委員	×
社会教育関係者	なんば ひろゆき 難波 裕之	所沢こどもルネサンス実行委員会	○
社会教育関係者	たけうち さとこ 竹内 聡子	所沢市スカウト協議会 (ガールスカウト埼玉県第36団)	×
社会教育・家庭教育関係者	はりゆう きよみ 針生 清美	柳瀬小学校図書ボランティア代表、柳瀬公民館 保育スタッフ、柳瀬荘黄林閣(国重要文化財)管理人	○
社会教育関係者	おざわ さだやす 小沢 貞泰	(元)北秋津小学校区 心豊かな子どもを育てる学校 と地域づくり連絡会議 北秋津ネット 議長	○
社会教育関係者	こまつ ふみこ 小松 扶美子	所沢市連合婦人会 会長	○
社会教育・家庭教育関係者	やまむら あきこ 山村 顕子	所沢市PTA連合会 会長	○
社会教育・家庭教育関係者	こばやし こ 小林 ヒデ子	民生・児童委員 人権擁護委員	○
社会教育関係者	すどう こ 須藤 とく子	元市内小学校長	○
学識経験者	せき ゆい こ 関 維子	秋草学園短期大学 准教授	○
学識経験者	おおぎはら あつし 扇原 淳	早稲田大学人間科学学術院 教授	×
学識経験者	せき なおき 関 直規	東洋大学文学部 教育学科教授	○

※選出根拠＝所沢市社会教育委員条例第2条

令和7年7月9日現在

議長	<p>【4 報告事項】 (二十歳のつどい) 事務局より説明をお願いしたい。</p>
社会教育課	<p>所沢市二十歳のつどいは、地域社会の中で新しい門出を祝福するとともに、大人としての自覚と次世代の担い手としての活躍と幸福を祈念することを趣旨として開催しており、今年度は令和8年1月12日に各まちづくりセンターで開催した。(新所沢東地区のみ新所沢まちづくりセンターが工事中のため市民体育館で開催。)</p> <p>昨年度から各地区対象者を中学校区ごとで割り振って開催し、今年度も引き続き中学校区割で開催した。当日の人数は、全体の対象者が3,325人、出席者が2,218人、で出席率は66.7%だった。昨年の出席率が66.8%だったので、昨年度とほぼ同じ出席率だった。混乱が生じることもなく、終了することが出来た。社会教育委員の方で二十歳のつどいに出席された方もいるので、この後、意見や感想を伺いたい。</p>
議長	<p>では、当日出席した委員の方から感想などを報告いただきたい。</p>
委員	<p>所沢地区の二十歳のつどいに参加した。話を聞いていると、コロナで大変な時期を過ごしたようだった。これを乗り越える経験をしたことは、これからの人生で役に立つこともあるのではと感じた。一寸先は闇と言うが、一寸先に光もあると思って、皆さんに幸あれと思った。</p>
委員	<p>山口地区の二十歳のつどいに参加した。今年は出席者が少なかったと資料を見て思った。式典で山口中学校と上山口中学校の校長先生が話をしていたが、コロナで大変苦労したようだった。行事についても、学校生活についても、友達関係についても、正常なことがなかなか出来にくい学校生活ということで、そのあとの人生をどのように過ごしていくかが大事だと校長先生は強調していらした。</p> <p>ホールには可動式の席があるが、出席者全員が座ることができない。振袖を着た方が席に座れずに、立ってぼんやり見ているのは気の毒だと感じた。入りきれない人は廊下に立っている時もある。ホールに入りきれない人は、体育室でホール中継を見ながら参加できるようになっていたが、会場のあり方には課題を感じた。</p>
委員	<p>所沢地区の二十歳のつどいに参加した。振り袖姿の華やかな方達で、小さい頃を知っている方をみると、立派になったなと感動があった。</p>

委員	<p>富岡地区の二十歳のつどいに参加した。今まで参加していた柳瀬地区との違いを感じ、地区ごとに特色があると感じた。富岡地区はかなり出席者が少ないと感じたが、出席率は64%で、もともと対象者が100人弱である。日頃、柳瀬小学校で読み聞かせをしていて、以前は1学年3クラスであったが、今はギリギリ2クラスの状況であり、少子化を感じている。今回二十歳のつどいに出席して、これから大人になる子が少なくなっていくことを実感した。</p>
議長	<p>柳瀬地区の二十歳のつどいに参加した。毎年色々な会場に出席していて、今年は二十歳の方達の様子から、柳瀬の日頃の地域との付き合いを感じた。</p> <p>昨年は小手指地区に出席した。先ほど委員からも話があったが、対象中学校が2校あって規模が大きく、最初から体育館での開催であった。山口地区、松井地区、三ヶ島地区も2つの中学校が対象であり、どのような工夫をされているかが気になった。</p> <p>また、各地区で、出席者の関係性、地域とのつながりや関り方に特色があると思った。柳瀬地区では、中3のときの学年主任と担任が全員来ていて、大変驚いた。それぞれの地区で特色ある二十歳のつどいが作られていると感じた。</p> <p>他に何かあるか。</p> <p>無いようなので、引き続き、事務局より報告をお願いしたい。</p>
社会教育課長	<p>(生涯学習推進センター運営協議会)</p> <p>来年度以降の社会教育委員会議で扱う議題に関するお願いである。この会議では、この数年間は、公民館のあり方、学校運営協議会などを中心に審議してきたが、来年度以降は新たに、社会教育課が所管する社会教育施設である生涯学習推進センターの運営についても議題の一つに加えていきたいと考えている。</p> <p>当センターの運営については、生涯学習推進センター運営協議会を設置し、年1、2回審議をしてきた。令和5年度に、生涯学習推進センターが組織として社会教育課に統合され、現在、社会教育課の中で、社会教育委員会議と生涯学習推進センター運営協議会という2つの審議会を運営しており、これらを社会教育委員会議に一本化したいと考えている。</p> <p>生涯学習推進センターは平成21年度にオープンした施設で、子どもから高齢者まで多世代を対象に、子育てや健康、スポーツといった講座の開催や市民大学など、様々な生涯学習事業を行っており、いわゆる公民館事業に近い性格がある。来年度から年1、2回程度、そうした事業の報告などをさせ</p>

	<p>て頂き、皆様から様々な意見をいただいて運営に反映させていければと考えている。</p>
議長	<p>1点確認するが、現在の生涯学習推進センター運営協議会の任期はいつまでか。</p>
社会教育課長	<p>任期は昨年9月末で終了している。</p>
議長	<p>皆様からは何かあるか。 無いようなので、引き続き、事務局より報告をお願いしたい。</p>
社会教育課	<p>(地域ジュニアリーダー研修会)</p> <p>地域ジュニアリーダー研修会は、所沢市子ども会育成会連絡協議会と社会教育課の共催で実施する、中学生を対象とした事業で、持続可能な地域の担い手となる人材を養成することを目的として実施している。8月の社会教育委員会議で、夏休みに3回の講座を実施することを伝え、本日は、その後の状況について説明する。</p> <p>養成講座は、去年の2月に1回、今年の夏休みに3回、11月に2回の合計6回実施し、受講者は市内全中学校にわたり、合計102人である。養成講座を受講した中学生たちは、その後、市内の様々な事業に関わり、経験を積んでいる。例えば、こども未来部がエミテラスで開催した「こども若者まるっとフェスタ」、富岡まちづくりセンターやひばり児童館の事業、自治会のお祭りやイベント、社会教育課が支援する所沢こどもルネサンスなど多岐にわたり、特にひばり児童館のクリスマス会では、地域ジュニアリーダーが企画や当日の運営にも関わったとのことである。更に、養成講座受講者を対象に、スキルアップや地域ジュニアリーダー同士の交流のためのパワーアップ研修会を1月に開催し、34名が参加した。当日は市長・教育長をはじめ、多くの方に視察いただいた。社会教育委員の方で研修会を視察いただいた方もいるので、この后感想など伺いたい。なお、今後として、地域ジュニアリーダー活動報告フォームを導入し、地域ジュニアリーダーからの活動報告を集約することで、活動回数によりランクアップするデジタル名刺や地域ジュニアリーダーの活躍をアピールする広報などを展開していく予定である。こちらは、以前の社会教育委員会議で委員から「活動状況の把握と、中学生の意欲的な地域貢献につながる何か取組を」という発言や、地域ジュニアリーダー本人たちからの要望により実現していく。</p>
議長	<p>では、1月のパワーアップ研修会を視察した委員より、感想などをご報告</p>

委員	<p>いただきたい。</p> <p>パワーアップ研修会に所沢こどもルネサンスとして視察した。当日、中学生のボランティアを所沢こどもルネサンス事業のトコトコタウンに協力いただきたいということで、トコトコタウンのチラシを配っていただいた。当日参加していた地域ジュニアリーダーのうち2名が、以前トコトコタウンのこども会議に参加して中心的に活動してくれた子であった。このトコトコタウンのこども会議では子ども達が自主的に議題を決めて、話し合ったことを教育長や市議会に持っていったこともあった。こども会議に参加した子が地域ジュニアリーダーとして活躍してくれていて、こども会議をやって良かったと感じた。</p>
委員	<p>今の子ども達はすごい。自分の意志で行動し、のびのびと発言をして、素晴らしい。色々な行事も積極的に行っていて、我々の時代には考えられないような子ども達の存在があって、感心することばかりであった。私達も子ども達を見る意識を変えなければと感じた。</p>
委員	<p>地域の色々な行事でも高齢化で人材不足を感じている中、地域ジュニアリーダーを育てていただいているということに関心をもって視察した。お話を聞いていて、子ども達が積極的にやっていきたいということを感じ、所沢の未来は明るいと感じた。子ども達の意見の中で、ボランティアをポイント制にして、国内旅行、海外旅行に行きたいという意見や、高校受験や大学受験にプラスになるようにという意見もあり、ユニークな子どももいると思った。明るい未来があると感じた</p>
委員	<p>親に言われたから来たという子どももいたが、親に言われてくる中学生もすごいと思った。研修の機会を逃さずに参加したことは、きっと彼の今後の糧になると感じた。先ほど委員から所沢こどもルネサンスのボランティアに参加した子が地域ジュニアリーダーとして参加していたという話を聞いて、それぞれの活動がつながっていると感じた。どんどん広げていってもらいたい。所沢の子ども達が繋がりを持つようになって、大人になってもつながりをもってもらいたいと思った</p>
議長	<p>中学生で終わりではなく、もっと続けていきたいと感じている子もいると思った。活躍した地域の中で期待されたり、褒められたりすることを繰り返しているうちに、またやっていきたいと思ったのではないか。</p> <p>所沢高校にはボランティア部があるようだが、高校生になるとより広い地</p>

<p>社会教育課</p>	<p>域が活動範囲になるのかもしれない。大学生もそうである。そういったところで活躍し、また地元の地域に戻ってきてもらうという流れができればよいと思う。少し上の先輩の姿を見て、自分もああいうふうになりたいと思うことで、継続もしていくし、目標にもなると思った。これからも推進していただきたい。</p> <p>皆様から他に何かあるか。 無いようなので、引き続き、事務局より報告いただきたい。</p> <p>(「第78回優良公民館表彰」「令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰」)</p> <p>富岡まちづくりセンターが第78回優良公民館表彰を受賞した。表彰は、全国で60の公民館が表彰されている。惜しくも最優秀館1館、優秀館5館には選出はされなかったが、所沢市の公民館では平成9年に松井公民館が受賞して以来の受賞となった。今回は、特に富岡シニアスマホ学園の取組が評価されて、受賞に至った。</p> <p>また、椿峰小学校PTAが令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した。今回、「情報共有・制度改革・デジタル化に取り組む活動」や「『学校de野宿!』等地域や学校と協力して取組んだ活動」などを通じて、会員の意識改革を大きく前進させ、子どもとの触れ合いから得られる達成感により、保護者各々が活動意義を見出していくことで、近年縮小傾向にあるPTAの課題解決に向けた取り組みを実行していたことなど、評価されて受賞に至った。また、椿峰小学校のホームページには、PTAだよりや運営委員会の報告など様々な情報が掲載されており、PTAブログも掲載されている。このPTAブログに様々な活動の情報が載っているので、ぜひこちらも確認いただきたい。</p>
<p>議長</p>	<p>6階の社会教育課の前に市P連だよりが置いてあり、令和7年度所沢市PTA連合会の広報紙コンクールの入賞校が記載されている。広報紙部門、WEB部門、チラシ等部門の3つの部門があり、椿峰小は広報紙部門、WEB部門、チラシ等部門の全てで表彰されており、活発であると感じた。</p> <p>皆様から何かあるか。無いようなので、次に移りたい。</p>
<p>委員</p>	<p>(社会教育委員の日頃の活動報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢市幼児教育振興協議会の会長を務めている。協議会では、保育園、幼稚園、認定こども園、小学校が集まり、子ども達が円滑に就学を迎えるように、年間で数回会議を開催している。 ・幼稚園での地域活動として、未就園児教室、子育て相談、園庭開放などがある。

<p>議長</p>	<p>・小学校の授業のまち探検で小学生が来ることもあり、地域の小学生が幼稚園に来て、「幼稚園では何をしているか」「やりがいは何か」を先生や園長が質問を受ける。中学校の職場体験、免許取得を目的とした学生の実習なども受け入れている。</p> <p>・長生会の会議で子ども達と触れ合いたいという意見があって、幼稚園で昔遊び、こままわしや歌、おりがみなど交流の機会を設けている。</p> <p>(以上で報告事項は終了。)</p> <p>【5 教育委員会各所属からの諸連絡】 特になし</p> <p>【3 議事】※当日は非公開。議事の順番を最後に変更。</p> <p>(1) 社会教育関係団体の補助金について それでは事務局より説明をお願いしたい。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>所沢市教育委員会では、各社会教育関係団体の補助金交付要綱に基づき、社会教育への貢献が期待できる団体に対して補助金を交付し、その活動を支援している。社会教育法第13条の「社会教育関係団体に対し補助金を交付する場合には、社会教育委員会議の意見を聴いて行わなければならない」という規定に基づき、来年度の補助金に関して、各団体に交付する前に審議をさせていただくものである。来年度、所沢市スマートPTA応援補助金というものを新規事業として追加している。こちらについて、担当より説明をさせていただく。</p>
<p>社会教育課</p>	<p>所沢市スマートPTA応援補助金について説明する。PTA活動は、共働き世帯の増加などにより、時代に応じたあり方が求められており、市内でも様々な改善の取組が進められている。このことから、本事業は、PTA活動における保護者の負担軽減を図ることを目的に、PTA活動の一部を委託等するための経費を補助することで、無理なく参加できるPTA活動への改善を支援する新規の補助事業である。市内の小中学校のPTAを対象とし、各PTAに10万円を上限に、対象経費の実費を補助するものであり、申請は任意である。</p>
<p>議長</p>	<p>それでは、社会教育委員の中で補助金の対象となっている社会教育関係団体に所属されている方もいるので、状況を伺いました。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢こどもルネサンスに所属している。年間9つのプロジェクトを実施し</p>

<p>委員</p>	<p>ており、ほとんど毎月プロジェクトを実施している。私は記録係も担当しており、写真やビデオの撮影もしている。ホームページも作成している。</p> <p>コロナで5年間トコトコタウンができなかったが、去年から再開し、今年は3月に開催する。今年度から事務負担軽減の一環で、学校にチラシを配らずに保護者向けの情報配信アプリであるテトル（t e t o r u）で配信となった。そうしたら応募が少なくほっとメールでも広報をしてもらった。その後、2人から申込がきたが、まだ少ない状況である。コロナ前は2日間で千人規模の活動であり、今回は最大2日間で600人くらいを予定しているが、そこまではないかと思う。昔は往復はがきで受付をしていた。その後メールで受付をし、現在はグーグルフォームで受付をしている。テトル（t e t o r u）の配信だけでなく、年3回ポスターを作り、各学校、施設に掲示をお願いしている。それもあまり効果があるかはわからない。今年から参加者が少なくなっていることは一番困っている。</p> <p>毎年、会員数が減ってしまっているが、現会員は一生懸命関心をもって、活動をしている。私達の活動も、連合婦人会という名前が古いかと感じている方もいる。組織のことも考える時がきていると思っており、社会教育課に相談をして検討を始めている。私達の目に見える活動は、市民フェスティバルでの焼き団子や食文化の継承などがある。他にも所沢まつりの民踊流しもある。婦人会に民踊部もあるが、段々人数も減ってきている。</p> <p>資料の活動内容を見ていただくと、実際の活動がわかると思う。私達も誇りを持って活動している。焼き団子や民踊流しももちろんそうだが、北方領土返還運動全国大会に参加することもあり、普通に過ごしているとそういう話を聞くこともない、関心も持たない状態だと思う。このような活動に関心を持ってくださる方を大事にしながら、一生懸命活動を進めている。</p>
<p>委員</p>	<p>今回所沢市スマートPTA応援補助金が出ている。これについて、先に質問をさせていただきたい。47学校区で10万円ということで、この予算はどこから出るか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>予算は一般財源であり、国や県から補助金を受けるわけではないので、市税が主な財源である。</p>
<p>委員</p>	<p>スマートPTA応援補助事業(補助金)については、市P連として大半戸惑っている。今のPTAの課題はお金が無いということではない。PTA組織の本質を理解していない保護者が多いことに困っている。ボランティア活動を通して、先生と保護者が親睦を深める、信頼関係を深める、保護者同士が</p>

	<p>何でも相談できる友達を1人でも見つけるというような、人と人のつながりを作るためにある。</p> <p>470万円も予算を割いていただけなのであれば、むしろ所沢市PTA連会のお金にまわしていただきたい。市P連の会費を払うのが負担、市P連活動が負担だということで、市P連から抜けてしまうPTAもある。市P連に200万円いただければ、市P連の会費や保険をまかなうことができる。市内の47の学校を市P連の会員とすることができる。今年はPTAが成り立たなかったが、やっぱりPTAが必要という方々にPTAを立ち上げる支援をすることもできる。</p> <p>上限10万円で、必要無いPTAは申請しなくても良いですよとなったときに、PTA活動に対して後ろ向きの学校がわざわざ煩雑な申請をすることはしない。必要な人だけということであれば、真の支援にならず、本質的な解決にはならない。事前に市P連に意見を求めていただきたかった。支援を考えていただけるのはありがたいが、もう少し現実的な支援を考えていただきたい。今週市P連の常任理事会があるので課長にも出席いただき、何に使うてよいのか、PTAが無い学校にも支援いただけるのか、説明いただく機会を設けている。私達の挙げる声、どれだけ反映されるのかはわからないが、私たちは当事者なので、意見を汲んで、有効に使われるような案を考えていただきたい。</p> <p>活動報告としては、核家族化、人のつながりが弱くなってきている。子ども達が安心するためには、先生たちと保護者が連携すること、お互いに信頼関係を持って子ども達の前で笑顔で交流する姿を見せることが大事だと思って活動している。</p>
社会教育課長	<p>補足させていただくと、所沢市スマートPTA応援補助金は、市長の公約にPTA活動の負担を軽減するということが入っており、それをふまえて形になったという経緯がある。今後も市P連の話をきいて、それを踏まえてより有効に運用できるようにやっていきたいと考えている。</p>
議長	<p>意見や質問はあるか。</p> <p>無いようなので、以上で議事1は終了とする。</p>
副議長	<p>【6 閉会】</p> <p>子ども達を育てるための地域ジュニアリーダーの育成の報告があつたが、保護者も育てたい。私はPTA活動を通して、子育て期の悩みを聞いてくれるような友達ができて、子育てが終わっても付き合いがあり、PTA活動をやって良かったと思っている。そういう思いをしていただきたいと思うが、</p>

なかなか伝わらない。学校に行くこともあるが、先生たちが大変苦勞しているようで、学校が疲弊しているように感じる。それは、保護者が成長していないからなのかなとも感じる。読み聞かせのボランティアで関わりのある保護者には色々伝えていて、周りの保護者はPTA活動に理解があるし、ボランティア活動にも参加してくれている。そこに参加していない保護者が学校に苦情を言っている話を聞くと、なぜそのように考えるのか、だったらこうすればよいのと思うことが日々感じられる。

議長からの自分事として考えるという宿題もあるが、私に何ができるのだろうかということを考えながら、何もできていないのが不甲斐ないというか、悲しい現実だと思っている。各団体への補助金については、本質をとらえることを忘れることなく、本当に活動している方たちにとって有益なものにしていくことが大切だと思う。《以上で終了》